



2023-2024 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー(スコットランド)



世界に希望を生み出そう

第 2805 例会

令和 6 年 4 月 24 日(水)

No. 0743

例会日 : 毎月第 2・第 4 水曜日

場 所 : 各務原市産業文化センター2階

住 所 : 各務原市那加桜町2-186

TEL <058>382-4649 FAX <058>382-4719

会 長 : 松井 雅史 幹 事 : 小島 博彦

副会長 : 横山 浩之 会 報 : 永田 和弘

本日のプログラム 2024 年 5 月 8 日(水) 19:30 点鐘
クラブアッセンブリー

場所:各務原市産業文化センター2階 第2会議室

次回例会の予告 2024 年 5 月 22 日(水) 19:30 点鐘
卓話例会(AG 訪問及び新会員入会式)

場所:各務原市産業文化センター2階 第2会議室

出席委員会

会員総数 29 名(出席免除3名) (2023.7.1 現在)

～ 職 場 例 会 (各 務 原 特 別 支 援 学 校 見 学) ～

ご挨拶

高井 深雪 校長先生



皆様、おはようございます。4月に着任しまして一番初めに感じた事は、生徒は勿論の事 地域の方から愛されている学校であると、感じました。何気に桜の花を見に校庭に入られたりする様子からも、地域の方がこの学校の事を理解していただき、そして生徒たちが卒業した後も温かく見守っていただいている背景が伺えました。また学校も生徒も地域の方たちに育てていただいている学校だと改めて実感しております。皆さんもご周知の事かと思いますが、今校舎は今年度で終わりを告げ、来年度から新校舎に移る節目の時期となっております。移るにあたり、お世話になったこ

の地域の方たちとの関りなども大切にし、新しい学校のスタートに繋げていきたいと思っております。本日は、現在の学校(校舎)の様子や生徒の様子を見てご理解いただき、そして来年度へ繋ぐ様子も見ていただいた上で、改めてご理解ご支援いただけましたらこの上なく嬉しく思います。本日は、この様な機会を作って頂いたことに感謝いたします。有難う御座います。

学校の概要説明

浅野 普敏 教頭先生



学校概要の説明といたしまして、当校創立 39 年、現在の校舎になってからは 17 年の歴史があります。市民の皆様を支えられながらこれまで歩んで参りました。今校舎は一旦閉校致しますが、この校舎の歴史を

もって新校舎へ移る事になります。
当校校訓は、「自立・つよく 明朗・あかるく 協調・むつまじく」を校訓としております。社会生活に適応して社会の一員として能力や適性に応じた自立と、社会参加が出来るように心身共に調和のとれた人間を育てる事を目標として、教育活動に取り組んでいます。各務原市内高等部の知的障がい者のみを対象とした特別支援学校として、地域に開かれた学校を目指し、地域の皆様と交流活動や行事の参加を積極的に行っているところです。後程皆さんにも見学していただきますが、本校は作業学習に取り組んでおり、製作した作品の販売も定期的に行い地域の方に多く来校していただいています。今年度も地域の方へ発信が出来るよう、活動を計画しています。

今年度の学級数と生徒数は、全 8 学級、全生徒数 54 名になります。カリキュラムとしては「作業学習」を学校の大きな柱として 1 週間取り組んでいます。通常の高等学校のように各教科(国語、算数、理科、社会、道徳、技術家庭科等)に分かれた教育指導ではなく、作業学習(製品づくり)から様々な事を学び、そして力をつけていく教科も合わせた学習方法を取り入れています。1 年生から 3 年生まで、3 学年の生徒が 3 年間同じ班に所属し、其々 5 つの班に分かれて作業学習に取り組んでいます。卒業後の社会的な自立を目指し、働くために必要な基本的な態度や知識、技能を身に着ける学習をしていきます。作業班によって作る製品や活動は異なりますが、付きたい力や目指す姿は同じになります。基本的な入退室の挨拶、報告や連絡を相談する、道具の使い方、ものづくりの工程など一人ではなくチームワークで実践的に学んでいく学習になっています。また 1 年生ではカリキュラムの作業学習とは別に、校内作業実習として年 2 回(前期、後期各 1 回)、事業所より委託いただいた作業に取り組んでいます。内容としては、ハンガーの組み立てなどや封入作業になります。2 年生からは実際に現場実習として会社や事業所へ行き 2 週間、実習に取り組んでいます。同じく生活単元学習も教科と併せた学習内容となり、社会生活学習と家庭生活学習の 2 つの柱で学習をしています。社会生活学習は、生活上の課題の解決や処理をしていく力をつける学習として位置づけをしています。主に行事等を通して集団生活のルールやマナー、仲間同士の協力を体験的に学んでいきます。具体的には、校外学習として電車の乗り換え、時刻表

を見る、タブレット等の検索、公共交通機関の使い方、療育手帳の使い方等卒業後、自分自身が生活出来る力を身に着けていきます。家庭生活学習は、主に衣食住に関する事を学んでいます。洗濯機の使い方、アイロンのかけかた、バランスの取れた食事の作り方(お弁当の作り方)、掃除の仕方を学んでいます。

次に当校の主なイベントとして「ひばりイベント」があります。

作業製品を販売する「ひばりマルシェ」

体育的なスポーツとして「ひばりスポーツ」

学習の成果を発表する「ひばりフェスティバル」

芸術発表「ひばりアート」

音楽発表「ひばりコンサート」

当校住所の雲雀町から「ひばり」を取り其々のイベント名にしています。

最後に卒業後の進路についてですが、一般企業や福祉事業所へ障がい者雇用として、多くの健常者の方と一緒に働く一般就労と、福祉的就労があります。福祉就労は、一般企業で福祉サービスを受けながら働くことが難しい場合に、働くために必要な知識や技術、能力向上のために必要な訓練等の支援を受けながら働いていくものになります。

以上、学校概要の説明とさせていただきます。



作業学習の様子



園芸班



印刷班



縫製班



木工班



※各務原特別
支援学校HP
より抜粋

お礼の挨拶

松井 雅史 会長

次年度当クラブの事業で、新設されます支援学校に支援する事が決まり、私達も支援学校について勉強をしなければならないという事で、前回 教育施設整備推進室の和田様に講話をしていただきました。その際就労に関して、力を注いだ活動をされている事を伺い是非見学をさせていただきたく、今回急なお願いではありましたが見学させていただきました。当クラブの会員は皆、事業をしており従業員を抱えておりますので、今後就労に関してご縁が広がっていったらと思います。また来年度の活動を機に、交流を継続していきたいと思っておりますのでまた宜しくお願いします。本日は有難う御座いました。

校内施設案内 作業学習の様子見学



窯業班作品
(一般販売品)

